

いびがわマラソン

国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所
揖斐川第二出張所

秋の揖斐川と言えば、全国的に名高い「いびがわマラソン」。3年連続の雨の中での開催となった「2014いびがわマラソン（揖斐郡揖斐川町など主催）」は11月9日（日）、揖斐警察署前をスタートし、同町役場前をゴールとするコースで行われ、全国から9,048人の市民ランナーが出場しました。

今回で27回目の開催で、男女フル・ハーフの計4部門で開催。スタート地点である揖斐署前では、クレーンの上には、宗宮孝生・揖斐川町長のほか、スペシャルアドバイザーで地元出身の高橋尚子さん、スペシャルサポーターで旦那さんの祖父が揖斐川町出身という歌手の西田ひかるさんらが手を振って見守る中、スタートの号砲とともに、ランナーたちは揖斐川上流の揖斐峡や横山ダムを目指し駆け出しました。

また、いびがわマラソンと同時開催となった3キロ区間を歩く「いびがわウォーキング」には、約1,300人が参加し、秋の深まりを感じながら、思い思いのペースで歩き、ゴールを目指しました。

『心を入れたおもてなしRUN』 雨の揖斐川沿道を市民ランナー9000人が力走！



号砲とともにフルマラソンに参加した約6,000人のランナーたちが駆け出した = 揖斐警察署前（揖斐川町上南方）



揖斐川沿道を駆け抜けるランナーたち（正面は川口橋）



揖斐川を渡河するランナーたち（正面は井ノ口橋）

今回も揖斐川町はあいにくの雨。スタート時の気温は15度で、終始、小雨が降り止まず、肌寒い大会となりました。沿道のあちらこちらで、小さな子供たちが列をなして、ランナーたちを待ち受け笑顔のハイタッチ、軒下で「頑張れ〜」と手を振るお年寄りなど、マラソンの好き嫌いに関係なく、町民の多くが外に出ているのではないかとこのほどの声援ぶりは今年も凄いものがありました。

そして、ランナーたちは、雨に降られながらも、勇気づけられる声援に支えられながら、次々とゴールを目指し駆け抜けました。



地元園児たちがランナーとハイタッチ！（揖斐川町上野地先）



沿道では様々なアトラクションでおもてなし！

■出張所コメント

筆者の出身地である、このマラソン大会は、ランナース誌の「全国ランニング大会100選」で常に上位にランクインする人気の大会です。127mの高低差で起伏のあるかなり辛いコースですが、清流・揖斐川や揖斐峡の紅葉を眺めながら走るコースは爽快で、町を上げての応援がランナーたちに気持ちよく走れる環境づくりを提供しています。また、家族や同伴者たちをもてなし、楽しませよう！という熱意と心遣いが、訪れる人たちに感動を与え、リピーターも多く、エントリー開始から1時間で締め切られるほどの人気ぶりが分かるような気がします。